

2GHz帯TDD方式の移動通信システムに係る技術的検討の在り方に関する意見

平成23年11月7日

携帯電話等高度化委員会事務局御中

(株)NTTドコモ
執行役員
ネットワーク部長
入江 恵

記

2GHzTDD帯は、現状、空き周波数帯となっており、隣接する2GHzMSS帯と同様に、有効に活用されているとは言いがたい状況にあります。これは世界的に見ても同様の傾向であると認識しております。

一方で、携帯電話のトラフィック急増問題は世界的なレベルで急速に進行しており、一刻も早く、追加帯域を確保することが各国共通の課題となっています。このため、すでにIMT帯域として特定されているものの、有効活用されていない両帯域は、世界的にも追加周波数帯の候補とされているとの認識です。

例えば、韓国は、7月に公表した“National Broadband Plan”(案)において、2GHzMSS帯を追加帯域の候補として明記しております。

従って、日本においても、これらの帯域の携帯電話での利用について、国際的なハーモナイゼーションを考慮しつつ、有効活用方策を検討するべきと考えます。

以上